名古屋市は地元の大学生と中小企業をつなぐ取り組みとして、大学生が企業の課題にチャレンジする第１回のチャレンジ型インターンシップ事業「なごチャレ」を行いました。

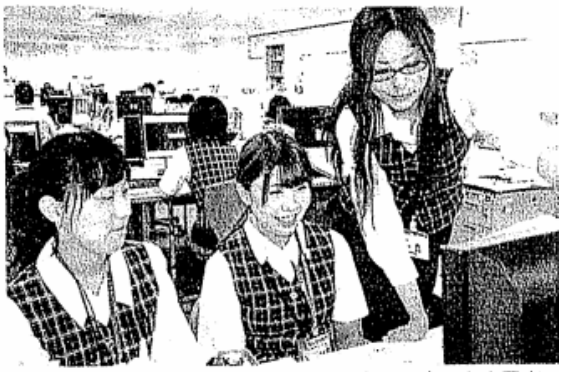
当社も８月中旬から大学生２名を約１ヶ月間受け入れ、会社案内やホームページなどの改善策に取り組んでいただきました。

中小企業も就職先候補に

インターンシップ 名古屋市が仲介

「若者目線」得て刺激に

「中小企業も就職先候補に選んで」―。名古屋市は地元の大学生と中小企業をつなぐ取り組みを始めた。名古屋市はこのほど、大学3年生が中小企業の仕事に挑戦する第1回のインターンシップ（就業体験）事業「なごチャレ」を行った。人材確保に悩む中小企業を支援するねらい。8月中旬から4週間にわたり奮闘した学生と企業の姿を追った。（小島圭司）



制服着用で仕事に臨む女子大学生（左の２人、名古屋市昭和区白金のコムワークスエンジニアリング本社で）

◇適切な助言

取り組んだ。女子大生の一人は「堅い業種だから会社案内の角を丸くして印象を軟らかくしたら」ときっぱり。

都市ガスパイプラインの設計などを手掛ける、コムワークスエンジニアリングは8月中旬から、女子大生二人を受け入れた。二人は同社の会社案内やホームページなどの改善に

営業部長の赤澤勝氏は「若者、素人目線の大切さを理解することができた」と話していた。

※この記事は９月２０日の中部経済新聞に掲載されました。
（中部経済新聞社　許諾済み）